

## 「ツキノワグマの出没に関する警報」の発表について

令和 5 年 5 月 26 日  
岩手県環境生活部自然保護課

県では、令和5年度のツキノワグマの人身被害が多発していることを踏まえ、出没に対する注意喚起を強化し被害の未然防止を図るため、岩手県全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」を発表します。

ツキノワグマの人身被害については、令和5年4月18日付けで「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発表し、注意喚起しているところですが、ツキノワグマによる人身被害が5月23日現在で7件、8名発生しており、近年の同時期と比較して非常に多くなっています。特に、6名の方が山菜採りの際に被害に遭われています。

山菜採りやレジャー等で山林に入る際は、予期せずクマと遭遇し、被害に遭う危険性が常にあることを意識していただき、入山するかどうか十分に検討するとともに、入山する際は下記の事項に留意し、十分な対策を講じるようお願いします。

また、今年度も人里への出没が報告されています。クマを寄せ付けない対策を積極的に行い、被害を未然に防ぎましょう。

### ○ 山林内（クマの生息域）における対策

- ・山林はクマとの遭遇リスクが高いことから、山林に立ち入る際はその必要性を改めて十分に吟味する。
- ・事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認し、出没・被害がある地域には入山しない。
- ・複数人で行動し、鈴やラジオ等の音の出るものを携行する。
- ・明け方、夕方の入山を避ける。
- ・撃退グッズ（忌避スプレー、鉈等）を携帯する。
- ・クマの糞や足跡を見たら引き返す。
- ・山菜採りや釣り等の際は、下や前だけを見ないで周囲の状況を確認する。

### ○ 人里における対策

- ・廃棄野菜や生ごみ、コンポストの管理を適切に行う。
- ・農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- ・電気柵を設置し、クマを寄せ付けない対策をする。
- ・庭先果樹は適期が来たらなるべく速やかに収穫する。
- ・屋外やクマが侵入できる納屋に果物、穀物、ペットフード等を保管しない。

### ○ クマに遭遇した場合の対策

- ・持ち物（リュック等）を静かに置いて、目を離さず静かにゆっくり後退する。
- ・クマとの間に木や岩を挟むようにする。
- ・風向きに注意して忌避スプレーを使う。
- ・至近距離でクマと突発的に遭遇した場合は、両腕で顔面や頭部を覆い、直ちにうつぶせになるなどして重大な障害や致命的なダメージを最小限にとどめる。

## 1 被害発生状況（令和5年5月23日現在）

| 番号 | 年月日  | 被害発生場所 | 状況      | 年齢  | 性別 | 被害の程度 | 予防対策 | 里/山 | 備考  |
|----|------|--------|---------|-----|----|-------|------|-----|-----|
| 1  | 4/15 | 久慈市    | 山菜採り    | 60代 | 男性 | 軽傷    | 無    | 山   |     |
| 2  | 4/27 | 八幡平市   | 山菜採り    | 70代 | 男性 | 軽傷    | 不明   | 山   |     |
|    |      |        |         | 70代 | 女性 | 軽傷    | 不明   | 山   |     |
| 3  | 4/28 | 岩泉町    | 山菜採り    | 80代 | 男性 | 不明    | 不明   | 山   | 子連れ |
| 4  | 5/16 | 八幡平市   | 山菜採り    | 40代 | 男性 | 重傷    | 鈴    | 山   |     |
| 5  | 5/16 | 宮古市    | 散歩・歩行   | 70代 | 男性 | 重傷    | 不明   | 山   | 子連れ |
| 6  | 5/17 | 遠野市    | 山菜採り    | 80代 | 男性 | 重傷    | 無    | 山   | 子連れ |
| 7  | 5/18 | 大槌町    | 自宅前を歩行中 | 70代 | 男性 | 重傷    | 不明   | 里   | 子連れ |

## 2 過去の同時期との比較

|         |    | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|----|-------|-------|-------|-------|
| 年間計     | 件数 | 27    | 14    | 23    | —     |
|         | 人数 | 29    | 14    | 24    | —     |
| 5月23日現在 | 件数 | 1     | 1     | 3     | 7     |
|         | 人数 | 1     | 1     | 3     | 8     |

## 3 （参考1）岩手医科大学からのツキノワグマによる受傷者に係る情報提供

※岩手医大において、H23.1～H28.12に高度救急救命センターに搬送された症例について調査したもの

- (1) ツキノワグマの被害に遭われ搬送された方の傾向としては、**高齢の男性が多く**、時期としては**5月**、時間帯としては**午前8時～正午に、山菜取りの最中に被害に遭う例が目立つ**。
- (2) 受傷部位としては、**圧倒的に顔面が多く**、目を狙って大きな鋭い爪で攻撃を受けるケースが多い。目とともに鼻や口など広範囲の皮膚を損傷するため、**多くの症例で緊急手術が必要**となる。**眼球が破裂し失明**した症例や、失明に至らなくても、顔面への大きな傷とともに、**眼球の運動障害や顔面の神経損傷などの機能障害が残存する方が多い**。

#### 4 （参考2）岩手県の人身被害の状況について

県 HP の下記の場所に、過去の被害の状況（表形式及び地図）、出没状況を掲載しています。

トップページ > くらし・環境 > 自然 > 野生動物 > ツキノワグマ > ツキノワグマによる人身被害状況・出没状況について

【R3～5年度の人身被害発生箇所位置図】

